

### 防犯パトロールで安全・安心なまちづくり 茨城県下妻警察署長から感謝状

「小野子町内防犯パトロール隊」(稲葉政男隊長)が8月9日、茨城県下妻警察署長から感謝状が授与されました。同隊は平成22年8月に発足以来、地域のパトロールに取り組み、安全で安心なまちづくりに貢献したことが認められたものです。

小野子公民館で行われた贈呈式で郡司文夫署長は「ほぼ毎日パトロールされ、実際に不審火を消し止めたり、不審者の情報を警察にいただいたりと地域に密着し、高校生への声かけなど青少年育成にも貢献されている。今後も警察と連携した活動をお願いしたい」とあいさつ。稲葉隊長は「これからもパトロール隊で何ができるかを考え、町内の安心・安全は自分たちで努力していきたい」と今後の抱負を力強く語りました。



受賞を喜ぶパトロール隊の皆さんと郡司署長(右)  
(8月9日、小野子公民館で)

### 国土交通大臣表彰

「下妻市花のまち推進ボランティアクラブ」(増田啓子会長・会員27人)が8月21日、「道路ふれあい月間」における表彰(道路の美化分野)で、国土交通大臣から感謝状が授与され、同クラブ役員の増田啓子会長、鈴木登喜子副会長、萩原富美枝幹事が稲葉市長を表敬訪問しました。

同クラブは、平成元年5月設立。平成16年に茨城県道路里親制度認証団体に認定され、一般県道谷和原筑西線の市内若柳甲地内から下妻乙地内の約2.0キロメートルの区間で植栽帯の花の植え付けのほか歩道の清掃・除草を行っています。道路愛護等に努めた功績により受賞されました。



受賞を喜ぶ同クラブ役員と稲葉市長  
(左から鈴木副会長、増田会長、稲葉市長、萩原幹事)

### 都心で 地元で「下妻の梨」を トップセールス

東京の大田市場で8月6日、下妻産「梨」のトップセールスを行いました。稲葉市長、JA常総ひかりの草間組合長が、出荷の最盛期を迎えた幸水梨の試食を市場関係者にすすめながらPRしました。

稲葉市長は「今年は天候に恵まれ、大玉で、味がのっていて特においしい」と市場内のマイクでアピール。今年は秀品をさらに厳選し、糖度13度以上を保障する市場出荷用のプレミアム梨「白箱」を作り、出荷したところ通常の3割増しの価格で取引されています。

地元のイオン下妻店で8月22日、マレーシアにも輸出が決まったプレミアム梨「下妻甘熟梨」のトップセールスを行いました。樹上で十分に熟成させた「下妻甘熟梨」を試食した方からは「いい甘さだ」「シャキシャキしておいしい」などと好評でした。



市場関係者に試食をすすめる  
稲葉市長(大田市場で)



抽選会で市長賞の当選者に  
賞品を手渡す稲葉市長

### シモンちゃんナンバーで下妻市をPR 「シモンちゃんご当地ナンバー交付式」

下妻市イメージキャラクター「シモンちゃん」が大きく入った原動機付自転車のご当地ナンバーの交付が8月3日から始まり、市役所本庁舎の市民ホールで開かれた交付式では、初回交付限定の予約ナンバー制度で、市民や事業所など71件の応募があった中から希望番号を取得した7人に、稲葉市長がナンバープレートを手渡しました。

夫婦で式典に参加した市内赤須の大島時雄さんは「少しでも下妻市のPRになればいいと思って申し込んだ」と話してくれました。

シモンちゃんのご当地ナンバーは、今後も新規登録だけでなく、登録済みの車両ナンバーも無償で交換できます。シモンちゃんご当地ナンバーで市内外を走って下妻市のPRにご協力ください。



稲葉市長(中央)からご当地ナンバープレートを手渡された皆さん

### 温かい善意ありがとうございます

#### 常陽銀行からシティセールス用グッズなど寄贈

創立80周年を迎えた常陽銀行から8月4日、創立記念事業の一環として、市のイメージキャラクター「シモンちゃん」のデザインカットなどが寄贈されました。

市に贈られたのは、シモンちゃんのデザイン10カットとデジタル一眼レフカメラ、会見用バックパネル、PR用テーブルクロスなどシティセールス用グッズ。

贈呈式で櫻井紳一・同行下妻支店長は「シモンちゃんは下妻市のイメージキャラクターですので、今回の寄贈品を活用されることで、ますます市民に愛され、さらに下妻市の知名度、イメージアップにつながることを願っています」とあいさつし、稲葉市長に目録を手渡しました。



贈呈品を前に稲葉市長(右)に目録を手渡す常陽銀行の  
櫻井紳一・下妻支店長(中)と松崎秋・下妻東支店長

有料広告欄

### 災害時相互応援協定の縁 浦安市と少年サッカーでスポーツ交流

千葉県浦安市のサッカー少年団「舞浜FCファルコンズ」の選手や関係者45人が8月1日、少年サッカーによるスポーツ交流事業で本市を訪れました。平成24年4月に締結した災害時相互応援協定の締結が縁で、平成26年度から交流が始まりました。

「舞浜FCファルコンズ」をほっとランドきぬのサッカー場で出迎えたのは、「JSCしもつま」と「下妻FC1984」の2チーム。各チームが6年生と5年生の2班に分かれ、



芝生のサッカー場で思いっきりプレーする両市の選手たち

各班4試合ずつ、計8試合を行いました。初めて下妻市を訪れた舞浜小学校6年の有吉航希さんは「田んぼや木が多くて、緑がきれいなところ。下妻のチームは強かったの、リベンジしたい」と話してくれました。

昼食の後は、砂沼サンビーチに移動し、茨城県最大のプールを満喫しました。子どもたちは、「ウォータースライダーが楽しい」「また来たい」などと大喜びでした。



砂沼サンビーチで波の出るプールを楽しむ浦安市の子どもたち